

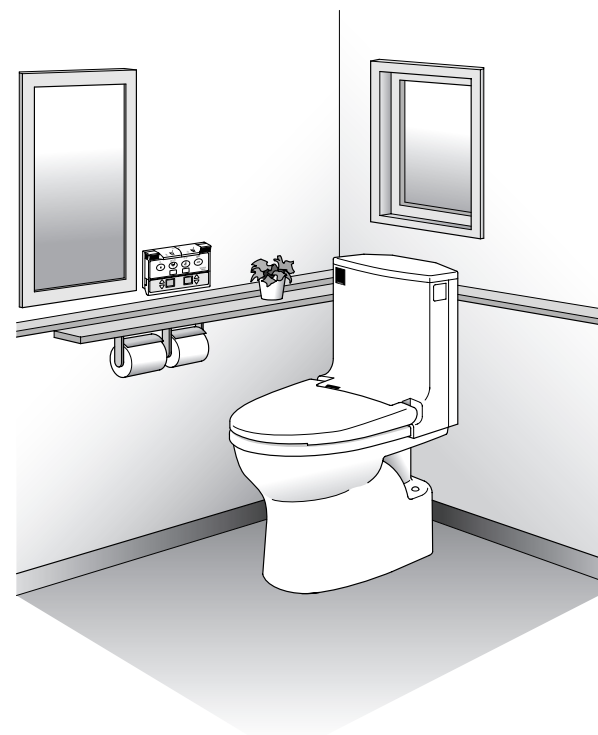
施工説明書

①はじめに	2
②安全上のご注意	2
③取り付け前のご注意	3
④部品の確認	4
⑤各部のなまえ	5

⑥取り付けかた	5
⑥-1 給水金具と排水管の位置の決めかた	5
⑥-2 止水栓(又は水抜きソケット)の取り付けかた	5
⑥-3 便器部の取り付けかた	5
⑥-4 機能部本体の取り付けかた	6
⑥-5 ヒータ付便器のコネクタ接続のしかた	7
⑥-6 連結ホースの接続のしかた	7
⑥-7 リモコンの取り付けかた	8
⑥-8 ロータンクの水量調節	8

⑦試運転	12
------	----

⑧その他	14
⑧-1 給水フィルターの掃除	14
⑧-2 凍結のおそれがあるときの処置	15



連結ホースの長さが合わないときには

止水栓の位置が異なる場合は製品にあらかじめ取り付けられている連結ホースでは長さが合わないことがあります。その場合は、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。

(製品に取り付けてある連結ホースの長さは600mmです。)

お求めの販売店にご相談ください。

連結ホース長さ違い一覧表			
ホースの長さ(mm)	品 番	ホースの長さ(mm)	品 番
300	D24008-2ZS	1000	D24008-5ZS
415	D24008ZS	1200	D24008-6ZS
800	D24008-4ZS		

1はじめに

- (1) 施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- (2) 取り付けの際にウォシュレット本体に傷をつけないように十分に注意してください。

2安全上のご注意

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害のみが発生が想定される」内容を示しています。

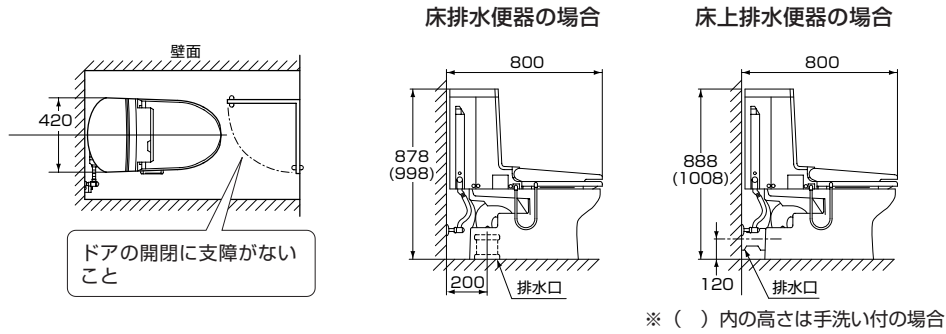
禁止 このような絵表示は、禁止の行為であることを告げるものです。

必ず守る このような絵表示は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告	
 水場使用禁止	浴室など湿気の多い場所には設置しない。 (火災や感電の原因になります。)
 禁止	交流100V以外では使用しない。 (火災や感電の原因になります。)
 アース接続	アース(D種接地)工事を確実に行う。 (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
 禁止	水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外では使用しない。 (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
 禁止	電源コードや漏電保護プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない。 (火災や感電の原因になります。)
 必ず守る	漏電保護プラグは根元まで確実に差し込む。 (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)
 必ず守る	給水管のパッキンなどを取り替えるときは、配線や機器などに水をかけない。 (故障や漏電の原因になります。)

注意			
 禁止	連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない。 (水漏れの原因になります。)	 必ず守る	施工は施工説明書にもとづいて確実に行う。 (説明書にもとづいて行わないと水漏れ・感電・火災の原因になります。)
 禁止	連結ホースにお湯を通したり、凍結防止ヒータを使用しない。 (水漏れの原因になります。)	 禁止	止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。 (水が噴き出します。)
 必ず守る	ロータンクの給水量は必ず調節する。 (ロータンクから水があふれ出し、床をぬらす原因になります。) 【※ 8ページ「図-8ロータンクの水量調節」】	 禁止	給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める。 (確実に締めないで水漏れの原因になります。)

3取り付け前のご注意



- 1. トイレスペース**
ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 2. 電源**
電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は604W(ヒータ付便器の場合)です。
必ずこの電力に適した配線工事を行ってください。
- 3. コンセント位置**
コンセントは、本体のコード取出位置から0.6m以内の壁面に取り付けてください。
電源コード・アース線の長さは1.0mです。
- 4. 給水圧力範囲**
給水圧力範囲は0.05(流動時)~0.75MPaです。
- 5. 給水温度**
給水温度範囲は0~35℃です。
- 6. 作業方法**
 - (1) 製品への通電及び通水は取付作業が完了してから行ってください。
 - (2) 連結ホースには折れ曲がり防止のため保護材(ダンボール)が取り付けられています。
機能部本体を便器にセットする直前に、保護材をはずしてください。

●総合セット品番

CES

機種

記号

タイプ

9031

ZE1

9041

ZE2

便器タイプ

記号

タイプ

なし

防露

H

防露ヒータ

P

防露P排水

手洗いの有無

記号

タイプ

なし

手洗いなし

L

手洗い付

タンク金具+給水金具

記号

タイプ

E

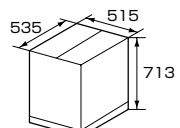
一般地用+止水栓

G

寒冷地用+ソケット(水抜方式)

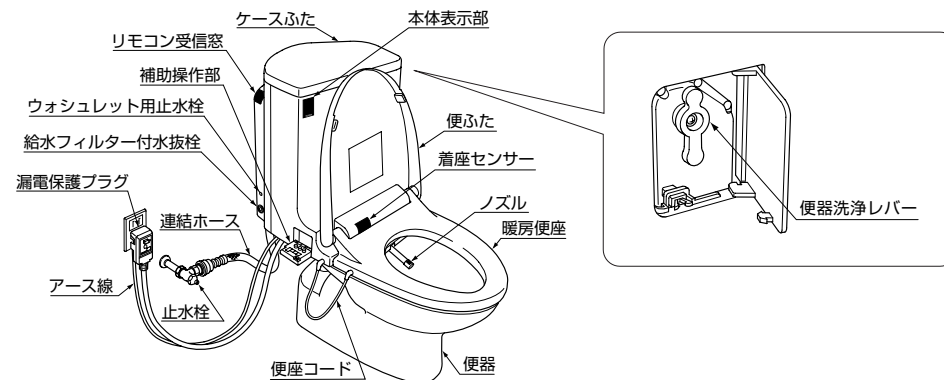
4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

機能部	梱包		部 品	
	機能部本体		リモコン部品	
機能部			リモコン（図はZE2） ねじ（3本） アンカープラグ（3本） リモコンハンガー 乾電池（2本）	
	連結ホース 保護材 プラグ（4本）		止水栓 （又は水抜きソケット） 止水栓 （又は） 水抜きソケット	
便器部	その他 使いかた説明シート 取扱説明書 施工説明書（本紙） 機能部 取付用型紙 予備パッキン（1個） （施工説明書に貼付） ※寒冷地のみ フック（1個）		機能部 取付用型紙 予備パッキン（1個） （施工説明書に貼付） ※寒冷地のみ フック（1個）	
	便器部本体 固定カブラ付（4本） セフィオンテクトマーク （ヒータ付便器は除く） CeFion tect		〈P排水便器の場合〉 固定金具（施工説明書付） 化粧キャップ （3個）	
便器部	〈防露便器の場合〉 740 440 400		化粧キャップ （3個）	
	〈ヒータ付便器の場合〉 431 424 769		〈床排水便器の場合〉 排水ソケット本体（ゴムジョイント付） 固定金具（施工説明書付） 化粧キャップ （3個）	

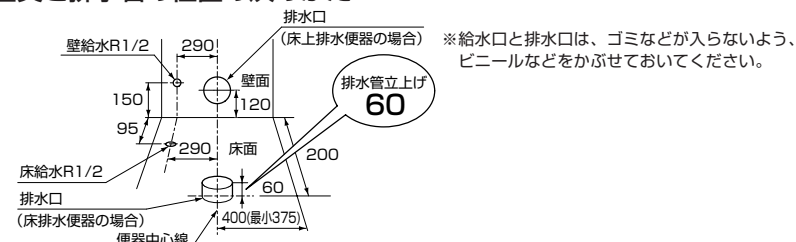
※便器付属品の詳細は、便器の施工説明書をご覧ください。

5 各部のなまえ



6 取り付けかた

6-1 給水金具と排水管の位置の決めかた



※給水口と排水口は、ゴミなどが入らないよう、ビニールなどをかぶせておいてください。

6-2 止水栓（又は水抜きソケット）の取り付けかた

●取り付けの前に

止水栓（又は水抜きソケット）を取り付ける前に、給水管内のごみ、砂などを完全にに取り除いてください。同梱の止水栓（又は水抜きソケット）を必ず取り付けてください。

壁給水

連結ホースの接続部を便器側に
向けて取り付けます。



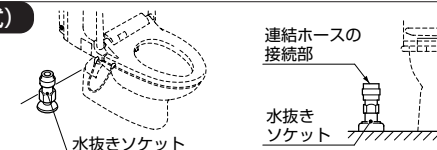
床給水

連結ホースの接続部を便器側に
向けて取り付けます。



床給水（水抜き方式、ヒータ付便器・水抜き併用方式）

水抜きソケットを取り付けます。



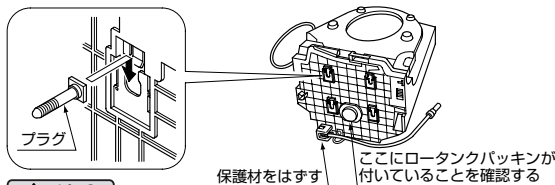
6-3 便器部の取り付けかた

便器の取り付けかたは、便器の施工説明書をご覧ください。

⑥-4 機能部本体の取り付けかた

便器に取り付けている固定カブラは、工場出荷時正しい位置に適正トルクで締め付けています。取り付けの際には、ゆるめたりしないでください。

1. プラグ（4本）を本体底に取り付ける



- ロータンクパッキンがめくれていることを確認してください。（めくれたまま便器にセットすると水漏れの原因になります。）

2. 型紙を置く



3. 図のように連結ホースと機能部本体を持って取り付ける

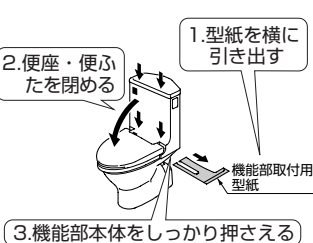
- 機能部のケースと化粧キャップの端を型紙の黒色ラインに合わせる



ご注意

- 機能部本体を持ち上げるときは、左記の場所は持たないでください。左記の場所を持つと便座・便ふたがはずれたり、製品が破損する原因になります。

4. 型紙をはすす



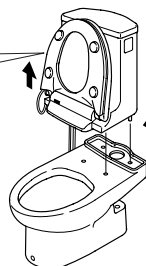
5. 機能部本体が固定されているか、確認する

- 機能部本体を軽く持ち上げても、動きませんか？（左右に動かすと5mmくらい動きますが異常ではありません。）上下に動く場合は機能部本体が固定されていません。機能部本体を次の手順で取りはずしたあと「1. プラグ（4本）を本体底に取り付ける」の項へ戻り、もう一度取り付け直してください。

機能部本体の取りはずしかた

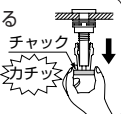
2. 機能部本体を持ち上げてはすす

- 軽く持ちあがらない場合は、ロックが解除されていません。無理にはずさず、「1. 固定カブラのロックを解除する（4カ所）」に戻ってロックを解除し直してください。



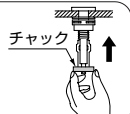
1. 固定カブラ下部のロックを解除する（4カ所）

- チャック（黄色）をカチッと音がするまで引き下げてください。



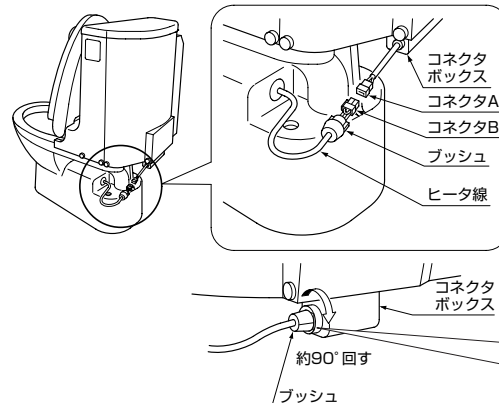
3. チャック（黄色）を押し上げる（4カ所）

- 押し上げておかないと機能部本体を固定できません。



⑥-5 ヒータ付便器のコネクタ接続のしかた

1. ヒータ線のコネクタを接続する



1. コネクタA・Bを接続する。
●コネクタの向きに注意して接続してください。
●コネクタ本体をかるく引っ張り抜けないことを確認してください。

2. コネクタA・Bをコネクタボックスに押し込む。

3. プッシュがコネクタボックスにあたるまで押す。

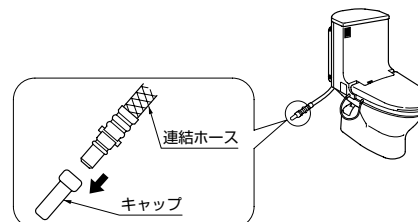
4. プッシュを90°回転させて固定する。

⑥-6 連結ホースの接続のしかた

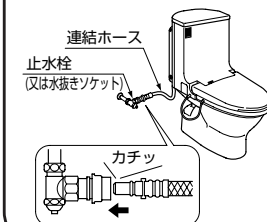
連結ホースは、あらかじめ機能部本体の後方に取り付けられています。ここでは、止水栓側（水抜き方式のときは水抜きソケット側）を接続します。

※給水位置の関係で連結ホースの長さが足りないとき、長すぎるときは、裏表紙に掲載している「連結ホースの長さ違い一覧表」にてご購入ください。

1. 連結ホース先端のキャップをはすす



2. 止水栓（又は水抜きソケット）に接続する

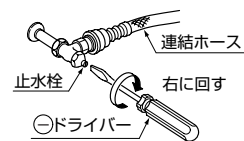


- 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。音がしないときは差し込み不足です。（水漏れの原因になります。）差し込んだ後、ホースを引っ張って正しく差し込まれているか確認してください。

連結ホースの取りはずしかた

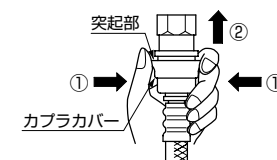
- 施工のやり直しなどで連結ホースを取りはずすときは次の手順で行ってください。

1. 止水栓を閉める。



- 止水栓を閉めた後、連結ホース内の圧力を抜くため、ロータンクの水を流してください。

2. カブラカバーの突起部を指でつまんでスライドさせる。このとき、連結ホースが少し押し出されます。



3. 連結ホースを引き抜く。



- 引き抜くときは、カブラから手を離しホース部を持ってください。

6-7 リモコンの取り付けかた

1. リモコンに乾電池を入れる

乾電池(単三形) 2個
閉める
裏面
電池カバー

2. リモコンの取付位置を決める

ご注意

- 取り付けにあたっては取付予定位置でリモコンを操作して、おしり洗浄がはたらくことを確認してください。
- なるべくリモコンを併設する場合はなるべくリモコンの施工説明書をご確認のうえ、取り付けてください。

のところが取付位置の目安です。
のところが使いやすい位置の目安です。

取付位置の目安
使いやすい位置の目安

3. リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける

リモコンハンガー
ねじ

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイル壁の場合は、φ6 深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。

4. リモコンをハンガーにセットする

突起部
ハンガー

- ハンガーの突起部に沿って、上から差し込んでください。

6-8 ロータンクの水量調節

1. 止水栓を開ける

※寒冷地の場合は、水抜栓を操作して給水する

- 配管及び製品から水漏れていませんか？

止水栓
左に回す

2. ケースふたを取りはずす

手洗いなしの場合

ケースふた
ケースふたの後方を上げながらはずす

手洗い付の場合

ケースふた
ケースふたの後方を上げながらはずす

3. 中ふた(黒)を取りはずす

- ねじ(5カ所)をはずしてください。

中ふた(黒)
防露ふた(半透明)
ねじ

4. 防露ふた(半透明)を取りはずす

防露ふた(半透明)

5. 止水位調整中に手洗いがこぼれないように接続チューブにコップをかぶせる

接続チューブ
コップ

6. ロータンクの止水位を調節する

- ロータンクの止水位をオーバーフロー管「WL2」に合わせる。

一般地用の場合

1. 止水位がオーバーフロー管の「WL2」より、上か下かを確認する

オーバーフロー管
この分 水位を下げる

- 止水位が「WL2」より上にあるとき

この分 水位を上げる

- 止水位が「WL2」より下にあるとき

2. 浮き玉を回し、オーバーフロー管の「WL2」に止水位を合わせる

水位が下がる
水位が上がる
浮き玉

- 浮き玉の高さによって止水位を調節できます。
- 1回転回すと、水位が約3mm変わります。
- 止水位は、一度便器の水を流してから、自然に止まる位置で確認してください。

ご注意

止水位は正しく合わせてください。正しく合っていないと、汚物がきれいに流れなかったり、便器の水が止まらなかったり便器が詰まったりすることがあります。

オーバーフロー管
(図は手洗い付の場合)

寒冷地用(水抜方式・ヒータ付便器・水抜併用方式)の場合

1. 止水位がオーバーフロー管の「WL2」より、上か下かを確認する

オーバーフロー管
この分 水位を下げる

- 止水位が「WL2」より上にあるとき

この分 水位を上げる

- 止水位が「WL2」より下にあるとき

2. ボールタップの水位調節リングを回し、オーバーフロー管の「WL2」に止水位を合わせる

水位が上がる
水位が下がる
水位調節リング(ピンク色)
浮き玉

- 浮き玉を軽く手で押さえながら、水位調節リング(ピンク色)を上げて回してください。
- 1/4回転回すと、水位が約8mm変わります。
- 止水位は、一度便器の水を流してから、自然に止まる位置で確認してください。

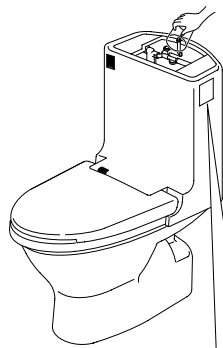
ご注意

止水位は正しく合わせてください。正しく合っていないと、汚物がきれいに流れなかったり、便器の水が止まらなかったり便器が詰まったりすることがあります。

3. 調節が終わったら、水位調節リングを下げてロックする

ボールタップ
水位調節リング
オーバーフロー管
浮き玉
水位調節リング(ピンク色)
下げる

7. 正しく調節できたか、確認する



便器洗浄レバー

1. 本体右側のふたを押して開ける
2. 便器洗浄レバーを手前に回して、水を流す
3. 水が止まったら、止水位が「WL2」に合っているか確認する

ご注意

手洗い付の場合は、コップをかぶせずに水を流すと、水が噴き出て壁や床をぬらす原因となります。

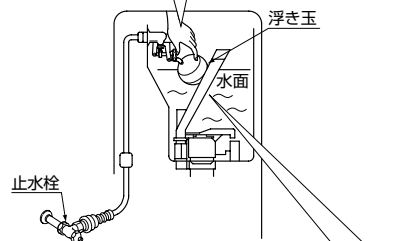
8. ロータンクの給水量を調節する

注意

ロータンクの給水量は必ず調節してください。
ロータンクから水があふれ出し、床をぬらす原因になります。

- 万一ボールタップが故障してもロータンクの水が外にあふれないよう、必ず給水量を確認・調節してください。

1. 浮き玉を指先で軽く押し下げたまま、止水栓を徐々に開けて給水する(寒冷地の場合は、水抜栓を徐々に操作して給水する)



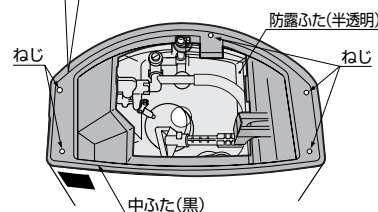
2. 止水栓を全開にし(寒冷地の場合は、水抜栓を操作する)、水面がオーバーフロー管より10mm以上、上昇しないことを確認する



- 10mm以上上昇するときは、止水栓(又は水抜栓)を絞って給水量を調節してください。

水圧が低く、給水に時間がかかる場合は次の手順で減圧プッシュを取りはずす。
[寒冷地用(水抜方式、ヒータ付便器・水抜併用方式)のみ]

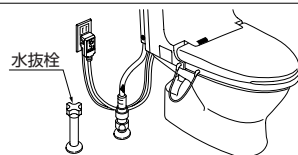
1. ねじ(5カ所)をはずし、中ふた(黒)及び防露ふた(半透明)を取りはずす



水圧が高く、給水音が激しい場合(水抜方式のみ)

水圧が高いと、ロータンクへの給水音が激しくなり、給水量が増えます。他の水栓の吐水量に支障のない程度に元栓を絞ってください。

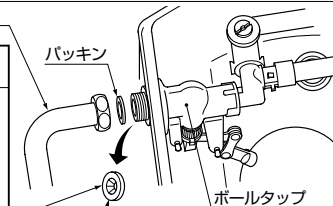
2. 水抜栓を操作して、給水を止める



3. 配管の水を抜く

警告

このとき取りはずした部分から、内部の電気部品に水滴がかからないように、ぞうきんなどで水を受けてください。水滴がかかると、火災の原因になります。



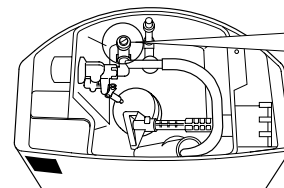
4. 減圧プッシュを取りはずす
5. 付属の予備パッキン(施工説明書に貼り付け)をセットし、もう一度接続する
6. 防露ふた、中ふたを取り付け、ねじ(5カ所)を締め付ける

9. 手洗い水量を調節する

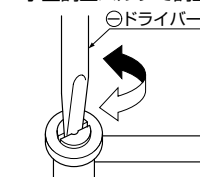
寒冷地用(水抜方式、ヒータ付便器・水抜併用方式)で手洗い付の場合のみ

ご注意

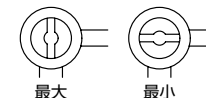
調節中は、水を流さないでください。
流すと水が噴き出て壁や床をぬらす原因になります。



水量調整バルブで調整する



● 水量調節角度の範囲は90°です。

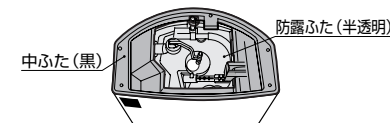


10. ケースふたを取り付ける

防露ふた(半透明)及び中ふた(黒)を必ず元どおりにセットしてください。

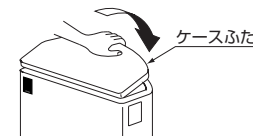
ご注意

セットしないと結露してウォシュレットが故障する原因になります。



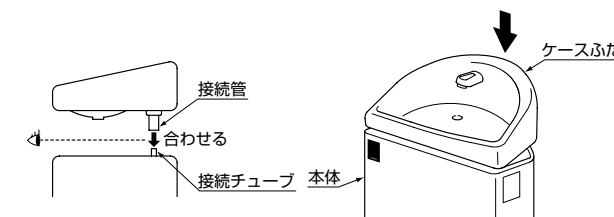
手洗いなしの場合

手前側を合わせケースふたを取り付ける



手洗い付の場合

1. 手洗い管の接続チューブに接続 2. ケースふたの手前側を本体に合わせ、後側を押し込んで取り付ける



3. 正しく取り付けできたか、確認する

● ケースふたが浮いたり、ぐらついたりしていませんか?
この場合は、もう一度取り付け直してください。

ご注意

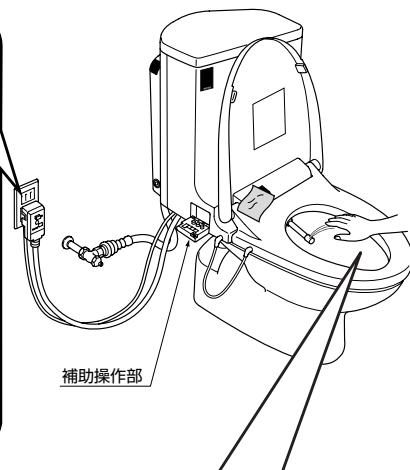
手洗い付の場合、ケースふたが正しくセットされていないと水を流したとき、水が噴き出て壁や床をぬらす原因になります。

11. 便器の水を流して、手洗い水量が適量になったか確認する(手洗い付の場合のみ)

- 適量にならない場合は、項目9, 10.の作業を繰り返してください。

1. 漏電保護プラグを確認する

- 漏電保護プラグをコンセント(100V、50/60Hz)に差し込む
 - ノズルが一旦出てから戻る動作をしていますか?
 - 漏電保護プラグの「入」「切」ボタンを押して、正しくはたらくか確認する
 - 切(テスト)ボタンを押すと、切表示が赤色になりますか?
 - 入(リセット)ボタンを押すと、切表示が白色になりますか?
 - 確認が終わったら、入(リセット)ボタンを押して、切表示を白色にする
 - 赤色になっていると、機能部本体の電源が入りません。
- ※切表示にはランプ表示のものもあります。



2. 機能が正しくはたらくか確認する

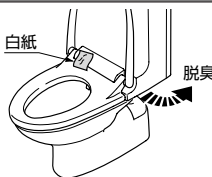
1. 便ふたを開け、着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと、着座センサーが検知した状態になり、スイッチを受け付けます。



2. 脱臭機能を確認する

- 本体の右側から風が出ていますか?



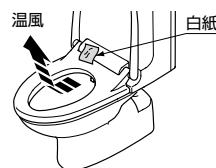
3. 洗浄機能を確認する

温水タンクが空のとき水が出るまで約1分かかります。又お湯になるまで約8分かかります。

- リモコンの または を押すと、ノズルから適温のお湯が出てきますか? (ノズルから出たお湯は手のひらで受けてください。)
- 水勢調節スイッチ を押すと、水勢が変化しますか?
- 本体から水漏れしていませんか?
- を押すと、お湯が止まりますか?

4. 乾燥機能を確認する (ZE2のみ)

- リモコンの を押すと、便座後方から温風が出ますか?
- を押すと、温風が止まりますか?



5. 暖房便座機能を確認する

- 暖房便座があたたまっていますか?
あたたまるまで約15分かかります。

6. 着座センサーの白紙をはがす

7. リモコン便器洗浄機能を確認する

- リモコン便器洗浄スイッチを押すと、便器の水が流れますか?

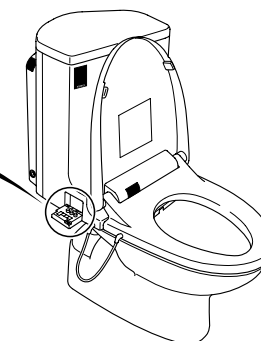
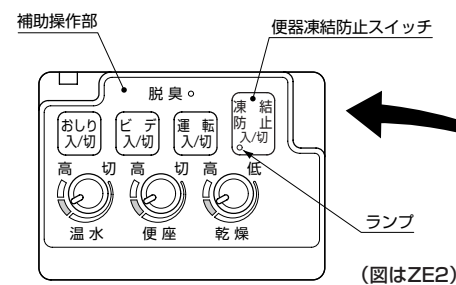


8. 連結ホースの接続部から水漏れしていませんか?

9. 便器と機能部の接続部より水漏れしていませんか?

3. 凍結防止機能を確認する

〔寒冷地用(ヒータ付便器・水抜併用方式)の場合〕



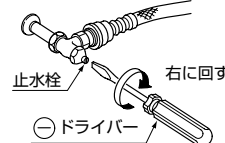
- を押すとランプが点灯しますか?
- 確認した後、 を押してランプを消します。

8 その他

8-1 給水フィルターの掃除

給水フィルターが詰まると、ロータンクに水が溜まる時間が長くなったり、ノズルからの水勢が弱くなったりします。次の手順で掃除してください。

1. 止水栓を閉めて給水を止める
※寒冷地の場合は、水抜栓を操作して給水を止める

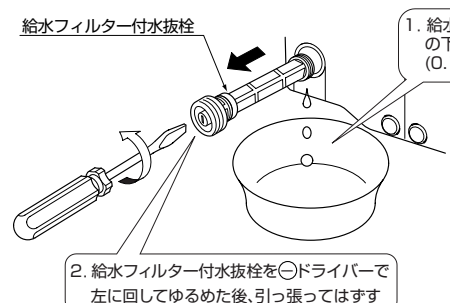


止水栓 右に回す
⊖ドライバー

注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。
●水が噴き出します。

2. 給水フィルター付水抜栓をはずす

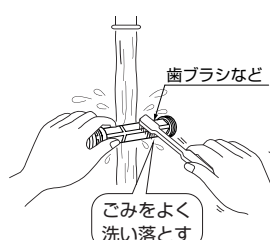


給水フィルター付水抜栓

1. 給水フィルター付水抜栓の下に、水受けを置く (0.1L程度入るもの)

2. 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーで左に回してゆるめた後、引っ張ってははずす

3. 掃除をする



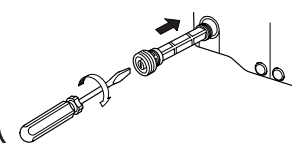
歯ブラシなど
ごみをよく洗い落とす

※金属ブラシは使わないでください。(フィルターの網が破損することがあります。)

4. 給水フィルター付水抜栓を取り付ける
給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで右に回して止まるまで確実に締めてください。

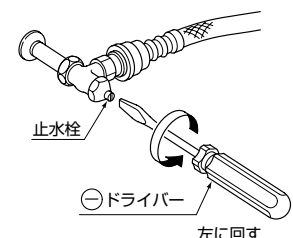
注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める。
●確実に締めないと、水漏れの原因になります。



5. 止水栓を開く
※寒冷地の場合は、水抜栓を操作して給水する

給水フィルター付水抜栓部から水漏れていませんか?



止水栓 ⊖ドライバー 左に回す

お客様へ引き渡すとき

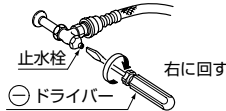
- 取扱説明書の裏表紙の保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- 製品の機能・使いかたについてお客様に説明してください。
- 新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、凍結予防の処置をしてから漏電保護プラグを抜いておいてください。

その他

8-2 凍結のおそれがあるときの処置

お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、凍結破損による漏水防止のため次の要領で水抜きしてください。

1. 止水栓を閉めて給水を止める
※寒冷地の場合は、水抜栓を操作して給水を止める

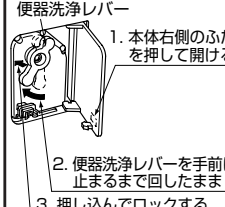


止水栓 右に回す
⊖ドライバー

注意

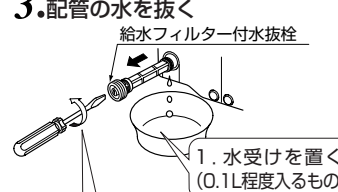
止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。
●水が噴き出します。

2. ロータンクの水を抜く



便器洗浄レバー
1. 本体右側のふたを押して開ける
2. 便器洗浄レバーを手前に止まるまで回したまま
3. 押し込んでロックする

3. 配管の水を抜く



給水フィルター付水抜栓

1. 水受けを置く (0.1L程度入るもの)

2. 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーで左に回してゆるめた後、引っ張ってははずす

3. 水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで右に回して止まるまで確実に締める

注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める。
●確実に締めないと、水漏れの原因になります。

4. 連結ホース内の水を抜く

- 止水栓側の連結ホースをはずし、ホース内の水を抜いてください。
- ホース内の水が完全に抜けたら、もう一度接続してください。
- 連結ホースの取りはずしかた・接続のしかたは、P7ページ参照

5. ウォシュレット内の水を抜く



ドレンプラグ

1. ドレンプラグの下に、水受けを置く (2L以上入るもの)

2. ドレンプラグを左に回してはずす
●水が完全に抜けるまで、1分程度かかります

3. 水抜きが終わったら、ドレンプラグを元の位置に戻し、右に回して確実に締め付ける

ご注意

取り付けや取りはずしの際には、ペンチなどの工具は使用しないでください。水漏れの原因になります。

6. ノズル内の水を抜く



着座センサー 白紙

1. 便ふたを開け、着座センサーを白紙でおおう

2. ① または ② を押す (ノズルから出たお湯は手のひらで受けてください。)

3. 約5秒後に ③ を押す

4. 着座センサーの白紙をはがす

7. 漏電保護プラグを抜く

8. 便器の溜水を処置する

- 便器の溜水が凍らないよう、不凍液を入れるなどの処置をしてください。